



活動日(3月末まで)
毎月第3土曜日 14:00~17:00

対象
市内在住・通勤・通学の中学生~30歳までの方で、継続して参加できる方

定員
8名
(登録制。定員に達し次第締め切り)

参加費
各回300円

問い合わせ先
東山青少年活動センター

これから

『ものづくりプログラム EPP(エビ)』メンバー募集!

東山青少年活動センターのテーマの1つ、「ものづくり」の新プログラムがスタート!

日常にあるアイテムを使い、集まったメンバーでものづくりをします。実験をするように、自由にアイデアを出し合い、みんなで考えながら創作をする時間。

いろいろなものづくりに触れてみたい人、誰かと一緒につくってみたい人、単純に楽しいことをしたい人など、一緒に活動するメンバーを募集しています。



「きたせい」に行こう!

報告

きたせいに行こう!



北青少年活動センター(きたせい)の8月はイベント月間でした。その中でも「カプラタワータイム」が盛り上がりました! 制限時間1分でひたすらカプラを積み上げます。簡単だからこそ多くの青少年が熱くなりました。最高記録は102cm! 15日(日)には「きたせい地蔵盆」も実施。町内でも「きたせい」が盛り上がり、露店がきたせいに出現し、いつものロビーが夏祭りの雰囲気。スパーボールすくい、的当てに見立てたダーツ、最後はみんなでビンゴ大会! その他にも毎日何か楽しいことが起こる8月のきたせいでした。参加した若者にとって、夏休みの楽しかった思い出のひとつになっていければ嬉しいです。延べ43人の若者が参加しました。

サンキュー、バナナ



伏見青少年活動センターでは、フードバンク事業にも取り組む「ゴズモズインターナショナル」様から定期的に提供していただいている食品を、隔週日曜日に時間限定で開店するロビー喫茶(ジュースとお菓子が大人気や、自習室やフリータイムに参加する若者に配るなどして活用させてもらっています。最初は遠慮気味だったけれど、最近では「今日は無いの?」と楽しみにしている若者が増えてきたので、



『しもせいギャラリー』オープン!



下京青少年活動センターの地下1階ロビーをギャラリースペースとして開放し、若手作家の活動発表を支援することを目的に、『しもせいギャラリー』をはじめました。1回目の企画展は、佐俣和木さん(現代アート作家)による遊びとスポーツを題材にした参加体験型の企画展「スポーティ、ダイバート」。フライングディスクエリアでは、フライングディスクや自転車カゴなど廃材を活用したものや、音の出る仕掛けのゴールが設置され、思わず投げたくなるディスクゴルフ場のようです。鉛をなめながら休憩できるスペース、壁面タイルを活用した迷路もあり、子どもから大人まで楽しめるアクティビティパークのような空間となっています。展示は、10月31日(日)まで開催しています。

広報誌に関する「意見」「感想」は「すくろく」へ

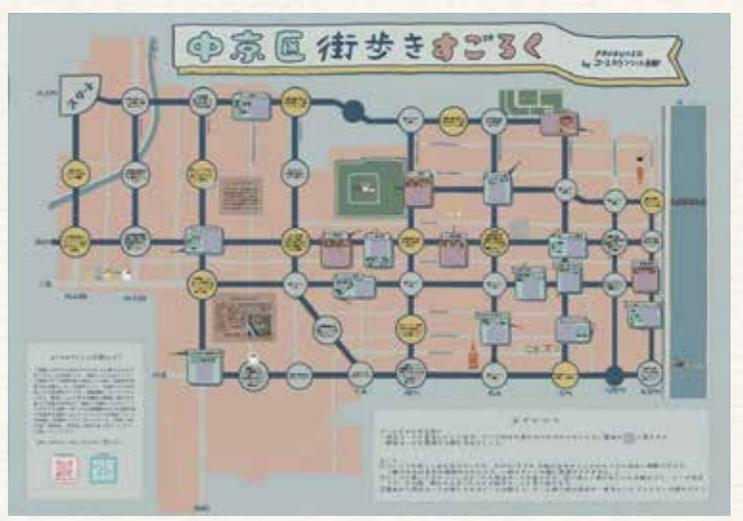


すくろく、完成!



私たち「ユースカウンシル京都」は「京都にゆかりのある人たちの暮らしをより良くする」をビジョンに、協会内事業として活動しています。感染症の脅威に晒され、自粛を余儀なくされる現在、観光客は減少し、地元活気も少しずつ失われていっています。そのような中で私たちにできることを模索し、完成したのが「中京区街歩きすくろく」です。全ての人が京都を身近に感じ

夏季インターンシップの学生と一緒に企画をし、感謝の声をメッセージカードにして届けました。「勉強の合間にいただきました。」



てもらえるよう、京都市中京区を舞台に街歩きを疑似体験できるすくろくになっています。目指したのは実際の地図としても使えるゲームです。遊ぶだけでなく地図としても活用できるよう工夫を凝らしました。ぜひご家庭で活用ください。困難なことが多い時代ですが、近い将来にこの逆境を乗り越えることができる! 実際の街でゲームをすることができるようになる! そんな未来に思いを馳せて制作しました。そんな未来をたくさんの人と共有することができそうです。



ご寄付のお願い

公益財団法人 京都市ユースサービス協会では、ユースサービスの理念に基づいて、若者が学校・地域の中で他者と出会い、関わりながらさまざまな挑戦や課題を乗り越える力を身につけ、豊かな大人へと成長していくための支援に取り組んでおります。若者をとりまく課題は多岐にわたっていますが、特に現在はコロナ禍において若者の活動の機会が制限される状況も生まれてきており、今後さらに多様なニーズに添えていく必要があります。市民の皆様には「寄付」という形で協会の取り組み、若者への支援としてご協力いただけますよう、お願いいたします。

郵便振替 口座番号	00950-2-172487
口座名義	公益財団法人京都市ユースサービス協会

※専用払込取扱票が必要な場合は、京都市ユースサービス協会事務局までお問い合わせください。



公益財団法人 京都市ユースサービス協会の新型コロナウイルス対策について



- 京都市と協議を行い、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを以下のような基本方針をもって策定しました。
- 新型コロナウイルス感染症の拡散状況を鑑み、若者の置かれている状況に合わせて対策を講じつつ、本来の若者自身の活動・成長機会が損なわれないための機会づくりを模索する。
 - コロナ禍においての状況、またコロナにより明確になった若者の置かれている状況や、若者の声を社会に届けることに取り組む。
 - スタッフ(職員・アルバイト・ボランティア等)個人の心身状態にも配慮するとともに、若者を始めとする利用者の健康面に留意し、利用者への感染症対策への協力依頼を含め感染症対策を講じつつ、日々の施設運営・事業運営に取り組む。
 - 従来の方法にとらわれず、これまでの代替手段としてだけでなく、これまでをふりかえりつつ、かかわりをより良くアップデートしていくを試みる。
 - 委託・指定管理を受けている行政機関との情報共有・協議に取り組むとともに、市民に対する説明責任を果たせるようにする。
- 詳しい対応策に関しては、当協会ホームページをご覧ください。



発行:公益財団法人 京都市ユースサービス協会
〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下角御射山町262
TEL: 075-213-3681 FAX: 075-231-1231
E-mail: office@ys-kyoto.org HP: http://www.ys-kyoto.org
印刷:株式会社谷印刷所 デザイン:株式会社オム